

地球観測データ利用ビジネスコミュニティ 第11回（令和2年度）通常総会

議事次第

日時：令和2年7月1日（水）16:00～17:30

場所：（一財）リモート・センシング技術センター 2階カンファレンスルーム

1. 総会成立確認
2. 議長選出
3. 議案審議
 - 3.1 [第1号議案] 活動報告
 - 3.2 [第2号議案] 令和元年度会計報告
 - 3.3 [第3号議案] 監査報告書
 - 3.4 [第4号議案] 会員増減報告
 - 3.5 [第5号議案] 幹事等選出
 - 3.6 [第6号議案] 令和2年度活動計画
 - 3.7 [第7号議案] 令和2年度予算
4. その他

以上

令和元年度の活動結果を以下にご報告いたします。

■関係部門との調整・連携、対外活動について

・内閣府宇宙開発戦略推進事務局

- 宇宙基本計画工程表について、会員各社から意見を頂き、BizEarthとしてパブリックコメントを8月に提出した。幹事と役員から意見が出たものの、一般会員からの意見は出なかった。パブコメの資料は共有。
- 過去の省庁事業の整理表及び予算要求向けの資料作成を実施。担当官及び参事官にBizEarthとして訪問する事で合意を取っていたが、コロナ関連の影響で、訪問する事が出来なかった。

・リモセンTF会合

- 第二回目の「衛星地球観測ミッション公募を実施し、BizEarthは利活用側として審査員を実施した。
- リモセンTF会合の中に設置されている実利用連絡会(東大岩崎先生が代表)の実部隊をBizEarthで担当できないかとの打診を受けて、幹事会で協議、作業部会のテーマとして立ち上げることで担当する事を念頭に代表の岩崎先生と協議中。

1

■関係部門との調整・連携、対外活動について

・JAXA

- 新事業促進部との協議を開始し、秋のBizEarthの講演会に参加いただき、意見交換を実施。今後も継続的に情報交換する事とした。

・リモートセンシング学会

- 未来部会が活動中であり、BizEarthとの連携も模索した。

・SJAC

- SJAC主催:次世代宇宙委員会「衛星を利用したサービス事業」に参加、参加は内閣府や経産省はじめ各省庁+ SJAC宇宙関係企業等の30名程度で構成。

・その他

- 総務省「宇宙利用の将来像に関する懇談会」はBizEarthとしても委員登録をしてあったが開催されなかった。

2

■勉強会の実施について

テーマ :「リモートセンシングにおけるAI利活用の最前線」と題し宇宙利用の新しい潮流について意見交換

開催日 :2019年11月1日

開催場所:一般財団法人リモート・センシング技術センター セミナールーム

開催形式:利用事例発表および意見交換形式とした

1 BizEarth:本日の勉強会ガイダンス

2 RESTEC(会員):「リモートセンシング技術におけるAI活用の概要や事例紹介」

3 パスコ(会員):衛星データ解析でのAI利用例

4 Ridge-i様:ディープラーニング活用事例とAI ×衛星データへの期待

5 総合討論:AIビジネスについて、AIをツールとしてどのように活かすか、今後の展望について等等の議論が行われた

実施結果:合計30名程度の参加を得て、開催できた。会員企業のRESTECやパスコからは、リモセン技術のAIの活用について、研究してきたことや活用事例を通して、実際の利用のシーンや課題について説明した。また、AIの開発企業であるRidge-i様からは、光学及びSAR衛星からの異常検知や変化抽出等について、今後の展望も含めた発表をいただいた。

雰 感 :各発表者の説明及び質疑応答で多くの意見が出たことは有意義であった。

また、テーマとしても今の時代に沿ったタイムリーなものだった。さらにBizEarthの会員企業とRidge-iのような先端的なAI企業とのコラボで開催できたのは良かったと実感できた。

3

■作業部会の実施について

・地域連携作業部会

内閣府が選定している「宇宙ビジネス創出推進自治体(北海道、茨城県、福井県、山口県)」の中から、新たにコンソーシアム立ち上げや補正予算を付けている茨城県と意見交換を行うこととした。2019年11月15日に、特区・宇宙プロジェクト推進室と意見交換を行い、茨城県側の取組みを把握した。

・若手作業部会

令和元年6月20日に若手WGメンバー+新規加入希望者3名が集まり、令和元年度顔合わせ会を行った。令和元年度において、メンバーは総勢17名となった。

令和元年度勉強会として、「山口先生を囲む会」を令和2年1月24日にHarris Geospatial殿会議室をお借りして開催した。「リモートセンシングについて思うこと」と題して山口先生にこれまでのご経験を語っていただき、ASTER、ひすい、今後の熱赤外衛星などについて意見交換が行われた。

予定していたリモートセンシングデータカタログ関連支援作業は、リモセン学会にて動きがなく結果として作業が発生しなかった。

令和2年3月にはメンバー間での懇親会を企画予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より見送りとなった。



令和元年度顔合わせ会(6/20)



山口先生を囲む会(1/24)

4

■広報活動について

(1)宇宙カタログ

宇宙カタログの改訂を行い、第5版として2019年12月にBizEarth webサイトより公開した。

デジタルコンテンツにて会社PRを整備されている会員企業も多いことから、2020年度よりwebコンテンツでの掲載にも取り組んだ。

2019年8月～9月に会員企業に新規追加・更新の希望を募り、希望があった3社について資料提示、webのURLを受け更新を行った。また問い合わせ先の最新化・会社名変更への対応を行った。

掲載企業数10社。

(2)会員獲得活動

会員の獲得を目指して会員獲得活動を行った。会員の増減については、4号議案「会員増減報告」にて報告する。

(3)展示会への出展

特になし。

■講演会の実施について:未実施(コロナ関連により中止)

テーマ:「衛星コンステレーションによる宇宙利用ビジネスの新潮流」

日時等:平成31年3月19 (一財)リモート・センシング技術センターにて開催予定

講演予定者(敬称略)

- 衛星コンステレーション展開企業:数社
- 衛星情報プラットフォーム構築及び利用企業:数社
- 産業技術研究所

■幹事会・情報公開について

・幹事会は年度初めに年間の開催スケジュールと主な議題を設定し、2か月に1回開催した。

(2019年6月、8月、10月、12月、2020年2月、4月の計6回)

・議事録を作成し会員に公開(配信)した。

・webサイトは一般の方々へ向けて衛星データの活用事例等を発信するとともに、会員向けに幹事会議事録、勉強会その他の資料等を提供する場であった。

■その他

・webサイトの改訂を適宜更新。<http://www.remosen.jp/>

第1号議案 活動報告 年間活動計画との関係

BizEarth
http://remosen.jp

〔第7号議案〕令和元年活動計画			2019年5月～2020年4月			
<具体的な活動>			2019年5～6月	7～9月	10～12月	1～4月
No	項目	主担当				備考
1	主要イベント		★5月：通常総会 ▲5月～7月：提案	パブコメ実施 フォローアップ 他コミュニティと連携		
2	関係部門との連携・調整	幹事会	宇宙・リモセン・コミュニティとの情報交換、ビジネス連携 他コミュニティとの調整会、など			・宇宙開発戦略推進事務局 ・S-NET 総務省(宇宙×ICT) ・リモセン学会 ・JAXA
3	企画・提案活動	企画部会				
3-1	提案・TF対応	伊東企画部会長	▲計画検討	TF会合： 要利用連絡会に参加		・タスクフォース会合(TF)
3-2	勉強会	新井幹事	検討会・勉強会開催(勉強会に参加) ▲計画検討	勉強会：AIを利用したはがき		・リモセンボリシー ・産業ビジョン等
4	作業部会活動					
4-1	地域連携作業部会	土肥座長／伊東副座長	▲自治体 意見交換	▲自治体 意見交換	ビジネスモデル検討	
4-2	若手作業部会	七森座長／井上副座長	▲計画検討 ▲勉強会開催	▲メンバー間懇親会 新規に活動		・勉強会 ・メンバー間懇親会
4-3	作業部会：順次立ち上げ	会員会社 (会員希望を受け所定手続きにて立上)	▲適宜立ち上げ…			公募案件向け共同提案活動の実施時、幹事会承認を得て作業部会の立ち上げ活動可能。
5	広報活動	幹事会	▲計画検討／企画 フロー	宇宙カタログ改訂 改訂原稿募集	▲第5回公開 改訂	・展示会出展 ・会員獲得活動 ・宇宙カタログ改訂
6	リモートセンシング人材の育成支援	全社 (幹事会まとめ)	▲作業検討／企画			
7	定期講演会開催	幹事会		▲準備		▲2月：講演会
8	幹事会	幹事会／監事・事務局	原則偶数月第2火曜(6/10, 8/13, 10/8, 12/10, 2/11, 4/7) ▲	▲	▲	
9	情報公開(ホームページ)	事務局／委託会社		随時公開	HPを随時の更新	

[第2号議案]令和元年度会計報告

収入の部

項目	今年度予算	実績	増減	摘要	※税込金額[単位:円]
繰越金	777,630	777,630	0	平成30年度繰越金	
年会費	450,000	480,000	30,000	@30,000円/年・社 × 15社 + 入会金30,000円 × 1社	
合計	1,227,630	1,257,630	30,000		

支出の部

項目	今年度予算	実績	残高	摘要	※税込金額[単位:円]
作業部会活動費	150,000	26,842	123,158	若手WG 講師謝金他	
作業部会活動予備費	100,000	0	100,000		
交通費	80,000	46,540	33,460	会長交通費	
定期講演会費	120,000	0	120,000		
勉強会運営費	90,000	30,340	59,660	勉強会講師謝金 30,000円 × 1名 × 1回 講師交通費	
会議運営費	100,000	0	100,000		
広告・広報費	250,000	21,900	228,100	サーバレンタル費, ドメイン管理費	
雑費	5,000	0	5,000		
印刷費(コピー代等)	20,000	0	20,000		
通信・輸送費	3,000	1,680	1,320	切手代	
振込手数料	3,000	0	3,000		
合計	921,000	127,302	793,698		

収入合計	1,227,630円	1,257,630円
支出合計	921,000円	127,302円
次年度繰越金	306,630円	1,130,328円

令和2年5月15日
以上のとおり、間違ひありません。
地球観測データ利用ビジネスコミュニティ事務局

藤川真治
藤川真治

令和2年5月15日
監査の結果、上記会計報告の内容を真実と認める。
地球観測データ利用ビジネスコミュニティ 監査役

高橋康夫
高橋康夫

令和2年5月15日

地球観測データ利用ビジネスコミュニティ
会長 山口 靖 殿

地球観測データ利用ビジネスコミュニティ
監事 高橋 康夫



監査報告書

令和元年5月1日から令和2年4月30日までの令和元年度における業務執行に
関して本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法

幹事会出席による実査並びに、事務局から提出のあった資料、会計報告について確
認し、必要に応じ説明を求めました。以上の方針により当該事業年度における業務執行
について監査いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ア 幹事の執務執行について、規約に違反する事実は認められません。
- イ 事業報告の内容は、本コミュニティ活動の状況を正しく示しているものと認
めます。

(2) 計算書類及び付属明細書の監査結果

- ア 計算書類及び付属明細書は当コミュニティの収支の状況を適正に示してい
るものと認めます。

以上のように令和元年度における主要業務は、地球観測データ利用ビジネスコミュニ
ティ規約に基づき、適正かつ妥当に執行されていることを認めます。

以上

[第4号議案] 会員の増減

令和元年度の会員の動きは以下のとおりである。(敬称略)

入会

正会員 1 団体
スカパーJSAT 株式会社 (令和元年 12 月 20 日)

オブザーバ会員 0 団体

退会

正会員 0 団体

オブザーバ会員 0 団体

現在会員数

正会員 16 団体
オブザーバ会員 1 団体

以上

第 5 号議案 幹事等選出

幹事等選出

1. 会長は、名古屋大学山口靖教授に就任頂いておりましたが、本年度から東京大学岩崎晃教授に新任いただくことになりました。
2. 令和元年度の幹事は、下記の①～⑤の 5 社で構成しており、②～⑤の各社は、規約第 12 条 3 項「幹事会社の任期は 2 年とし、再任を妨げない。」により、来年 5 月まで継続して幹事を担う。

【令和元年度幹事会社】

- ① 國際航業株式会社（2 年目）
- ② 一般財団法人リモート・センシング技術センター（1 年目）
- ③ 宇宙技術開発株式会社（1 年目）
- ④ 富士通株式会社（1 年目）
- ⑤ ESRI ジャパン株式会社（1 年目）

令和 2 年度で 2 年の任期を満了する幹事会社が 1 社ある事から、幹事会社の自薦他薦の案内を 4 月 21 日に送付した結果、以下の国際航業株式会社、Harris Geospatial 株式会社から連絡を頂いた。その結果、令和 2 年度の幹事会社の候補を以下の通りとする。

【令和 2 年度幹事会社】

- 國際航業株式会社（1 年目）
 - 一般財団法人リモート・センシング技術センター（2 年目）
 - 宇宙技術開発株式会社（2 年目）
 - 富士通株式会社（2 年目）
 - ESRI ジャパン株式会社（2 年目）
 - Harris Geospatial 株式会社（1 年目）
-
- 監事は、三井物産セキュアディレクション株式会社高橋監事に再任頂く。

以上

[第6号議案] 令和2年度活動計画

2020年5月～2021年4月

<具体的な活動>

No	項目	主担当	2020年5-6月	7-9月	10-12月	1-4月	備考
1	主要イベント		▲5月～7月：提案	★7月：通常総会	フォロー		
2	関係部門との連携・調整	幹事会	宇宙・リモセンコミュニティとの情報交換、ビジネス連携 他コミュニティとの調整会など				・宇宙開発戦略推進事務局 ・S-NET・総務省(宇宙×ICT) ・リモセン学会 ・JAXA
3	企画・提案活動	企画部会					
3-1	提案・TF対応	伊東企画部会長		▲計画検討	フォロー		・タスクフォース会合(TF)
3-2	勉強会	新井幹事		検討会・勉強会開催(勉強会1回) ▲計画検討	▲勉強会		
4	作業部会活動						
4-1	地域連携作業部会	土肥座長／ 伊東副座長		▲自治体 意見交換	▲自治体 意見交換	ビジネスモデル検討	・意見交換候補：茨城県、福井県 ・新規意見交換先を検討
4-2	若手作業部会	七森座長／ 井上副座長		▲計画検討			・新型コロナ対応のため、計画検討が延伸。今後活動計画を立案予定。
4-3	作業部会：順次立ち上げ	会員会社 (会員希望を受け所定手続きにて立上)		▲適宜立上げ…			公募案件向け共同提案活動の実施時：幹事会承認を得て作業部会の立上げ活動可能。
5	広報活動	幹事会	▲計画検討／企画	宇宙力タログ改訂 改訂原稿募集	▲第5版公開 改訂		・展示会出展 ・会員獲得活動 ・宇宙力タログ改訂
6	リモートセンシング人材の育成支援	全社 (幹事会まとめ)		▲作業検討／企画			
7	定期講演会開催	幹事会		▲準備		▲2月：講演会	
8	幹事会	幹事会／ 監事・事務局	原則偶数月第2火曜(7/14、9/8、11/10、1/12、3/9、5/11)	▲	▲	▲	
9	情報公開(ホームページ)	事務局／ 委託会社		適宜実施			

[第7号議案] 令和2年度予算

収入の部

※税込金額[単位:円]

項目	前年度予算	当年度予算	増減	摘要
繰越金	777,630	1,130,328	352,698	R01年度繰越金
年会費	450,000	480,000	30,000	@30,000円/年・社×16社
合計	1,227,630	1,610,328	382,698	

支出の部

※税込金額[単位:円]

項目	前年度予算	当年度予算	増減	摘要
作業部会活動費	150,000	100,000	▲ 50,000	@5万円×2作業部会
作業部会活動予備費	100,000	150,000	50,000	活動に応じて支給
交通費	80,000	80,000	0	調査・会議等出席のための交通費
定期講演会費	120,000	120,000	0	講師謝礼 30,000円×3名×1回、交通費30,000円
勉強会運営費	90,000	90,000	0	講師謝礼 30,000円×2名×1回、交通費30,000円
会議運営費	100,000	100,000	0	総会、講演会、勉強会の会場設営費
広告・広報費 (webサイト維持・改訂・管理費)	250,000	250,000	0	展示会出展、活動成果配布他 R02.06～R03.05(12箇月間)、ドメイン維持費を含む webサイト改訂費用を含む
雑費	5,000	5,000	0	全体会合時の懇親会費差額補助等
印刷費(コピー代等)	20,000	20,000	0	案内、展示会ポスター印刷他
通信・輸送費	3,000	3,000	0	封筒、切手代
振込手数料	3,000	3,000	0	各種支払時
合計	921,000	921,000	0	

収入合計	1,227,630	1,610,328
支出合計	921,000	921,000
次年度繰越金	306,630	689,328